

【議事録】第3回長井市公共施設等整備計画検討委員会

日 時 平成 28 年 10 月 26 日（水）15：15～17：00

場 所 タス パークホテル 3階「絋」

概 要

今年度 11 月中に策定予定の公共施設等整備計画について、最終案に対する意見と個別施設（公共複合施設、市庁舎）についての意見を伺った。

内 容

1. 開会

2. あいさつ

（委員長）先日、南陽市の方と話をする機会があり、公共施設の話題になった。南陽市は文化会館が新しくなったが、長井市は文化会館も庁舎も古くなった。まちなかには車も人通りも少なく、賑わいづくりは喫緊の課題。今日は個別の施設、公共複合施設と市庁舎についてご意見を頂く。単なる建物としてではなく、まちづくりとしてどうあるべきか、各者の立場でご意見を賜りたい。

（市長）ご多忙の折、会議へのご参加に感謝。今日の第3回の会議で最終の意見を承り、整備計画を成案とする。今日は個別の施設についてもご意見を頂きたい。

平成30年度から国交省補助を見込んで公共複合施設の整備事業を開始予定。その他、市庁舎の新築と文化会館の大規模改修も同時並行的に行う。

先日、長井小学校第一校舎の教育・文化複合施設へ用途変更するための改修設計費の補正予算について臨時議会を開き、議決頂いた。平成27年度までは学校施設としての大規模改修、免震・耐震工事に文科省の補助を3割見込んでいたが、1割以下しか出ないことがわかり、改修を一旦諦めた。2,000㎡以上の木造2階建校舎が現存しているのは全国でも稀。第一校舎を何とか残そうと、キャリア教育とまちの賑わいづくりを目的として、建物を用途変更して利活用する方針を固めた。整備費用は文科省補助よりも多額が見込める国の地方創生拠点整備交付金などを活用予定。現在建設中の観光交流センターを核にし、第一校舎を呼び水として、まちなかへの人の流れを誘導する。第一校舎の活用事業には民間事業者に参加してもらい、1階にレストランや市民ギャラリー、長井の舟運文化の展示など、2階はキャリア教育を行う場所としたい。用途変更による改修費用は防火対策や配電設備等のかかり増しで7億7千万円。国が今年度の補正予算で地方創生関連費を準備中とのことで、市ではこの枠を狙って第一校舎の整備について国へ最大5割の補助を要望しているところ。

長井市公共施設等整備計画は10年計画で141億円の整備費用を見込んでいるが、今後、物価変動が予想される。長井市庁舎と公共複合施設の整備費用は民間事業者および銀行とPFI事業を組み、長期返済計画を立て、起債よりも有利になるか

検討したい。それでもなお、財源の目途が立たないようであれば、一部の施設整備は次世代に引き継がせるしかない。

3. 協 議

(1) 公共施設整備計画(案)について

(事務局) 整備計画案は前回会議から変更を加えていないが、計画書 P26 のスケジュールについて、前回会議で、各施設が新築、改築、大規模改修、耐震改修、長寿命化のいずれとするのかわからないとのご意見があったので、各施設について各々の予定を記載するように修正する。

(委員) 現在、豊田学童クラブを建設中。学童クラブの需要は高く、公民館で年に何度か開催している放課後子ども教室で遊んだ後も学童クラブに戻る児童が多い。

(委員) 市では学童クラブについて今後どのような方針か？

(事務局) 去年は平野、今年は豊田の学童クラブを整備。平成 26 年度に策定した「長井市子ども・子育て支援事業計画」では、平野、豊田以外の地区では学校の空き教室を利用することとしている。西根と致芳は現在児童センター内に設置しているが、学校内の空き教室で実施することを関係者と協議中。

(委員) 観光交流センターがもうすぐ完成。設置の効果について期待しているところ。観光交流センターの整備費に関して、これは市民の間での噂話かもしれないが、国の補助金が減ったのに建設していると聞いたので事実を確認したい。

(市長) 観光交流センター整備費の補助が減ったという事実は無いのでご安心頂きたい。補助が減ったというのは、国交省補助金の全体総額の話で、消雪道路に関する補助が当初の予定の 3 割に減額されたことについてだと思う。消雪道路の整備を期待していた市民の間で話題になったのかもしれない。なお、国交省補助金の縮小化は長井市に限らず全国的な傾向。

(委員) 観光交流センターからまちなかへ人の流れが生まれ、商業とうまく繋がるよう期待している。県で行っている本町街路整備事業は予定より完了が遅れており、現時点で街並みの南北ラインが見えていない。早期の完了を期待しているところ。まちづくりとして特に必要と考えているのは若者の遊べる場所とお土産を買える場所。これが無いと子育て世代は余所の町に遊びに行ってしまう。長井に楽しい場所、良いものが出来れば、余所のまちの人が長井にやってくる。

(委員) 観光交流センターについてはいかに活用するか。国道の道の駅のようにトイレ利用で車を止めさせた後、どうやってまちなかに人を引き込めるか。行政も商店も人に頼っているところは上手くいかない。自分の力で何とかすること。

(委員) 観光交流センターのメイン機能は情報発信だが、施設面積のうち、販売を行う部分の面積の割合はどの程度か？

(市長) 全体面積の約 4 割を売り場面積として予定している。売り場には現在 TAS の 1 階にある物産館が全面的に移り、菜なポートも全て若しくは一部が観光交流センターに移る。情報発信・交流スペースは約 6 割。その半分が休憩スペース、残り半分がやまがた長井観光局。ここに展示物を用意する。ラーメン本やスイーツ本を作り、本にはクーポン券を付ける。こういったものを観光交流センターに配置

して、まちなかへの誘客を図る予定。観光バスは1日60~100台の駐車を見込む。山形県内に観光バスが入ったら長井に立ち寄ってもらう仕組みを作りたい。

県の本町街路整備事業は遅れ気味。旧ヨークベニマルと周辺の整備については民間が検討中で、市が出来る支援はしていくつもり。公共複合施設ができるとまちなかへの人の流れも生まれる。

(委員) 社会福祉協議会と社会福祉関係施設の整備を市ではどう考えているか？

(事務局) 市以外が所有する施設については本整備計画には入っていない。

(市長) 市有以外の施設は本整備計画とは別に検討していく。現在の社協建物は市の建設補助金で建てた経過あり。本整備計画に記載は無いが、社協も建物が古くなって駐車場も狭いのでいずれは市で補助を出して整備しなければならないと思う。旧ヨークベニマル1階にテナントが入れば、市は2階に役所の一部事務所を移転すると言ってきた。ただし新庁舎が完成したら退去するので、市役所退去後の2階に社協が入居してはどうかと考えている。旧ヨークベニマルは屋根つき駐車場、エレベーター、エスカレーター完備なので高齢者が階段の昇降で困ることは無い。

(委員) 図書館が複合施設に入ったら現在の図書館は取り壊しになると思うが、更地にしてつつじ公園の一部とするのか？他にも、まぎーれが生涯学習プラザから退去して公共複合施設に移転したら、現在のまぎーれの部屋はただの空室になるのか？残った土地や施設をどうするかも、事前に考えておいてもらいたい。

(2) 個別施設計画について

○公共複合施設について

(事務局) …別紙資料を用いてこれまでの経過と概要を説明。

(委員) 施設へのエレベーターやエスカレーターの設置は高齢社会で必須と思う。文化会館には階段しかない。趣味の活動で文化会館の3階の部屋を利用する高齢者は、階段の昇降が苦痛だと言っていた。市内イベントの実施の際も、高齢者の移動、特に階段の昇降が課題。

(委員) 商店街の中でも店主によってやる気の格差がある。本町のように街路が広がっても商店街が振興するのか疑問。現状、歯抜け状態になってしまっている。市内企業の顧客や物流のエリアは、工業は市外が9割、商業は市内が9割。商と工の立ち位置は大きく異なる。商店街には、店内に入ったらモノを買わないと出られないような入りにくい店がある。せめて出入りが自由な雰囲気づくりをしてもらいたい。市には教育、特にレベルの高い外国語教育に力を入れてもらいたい。他のまちの親世代が子どもを長井で勉強をさせたいと思うようになればいい。

(委員) 商店街の店は気軽に入りにくいというのは同感。公共複合施設の機能は資料に記載のものしか予定していないのか？この程度では正直行きたいとは思えない。商業施設は入らないのか？

(市長) 公共複合施設と市庁舎には民間施設を入れたい。市の土地や建物に民間が入ることは、民間にとっては賃料を抑えられ、市にとっては賃料が入るというメリットがある。屋内児童遊戯施設などを設置することによりまちなかへの人の流れを作るので、商業は民間に頑張ってもらいたい。

文化会館へのエレベーターの設置要望は何度か伺った経過がある。現在の文化会館は音楽から美術まで幅広く何でもやっけてしまっている。例えば文教の杜周辺を美術、文化会館は音楽に特化するなどの区分けも必要と考えている。文化会館は平成29年度に耐震診断、平成30年度から耐震・大規模改修を行う。

教育については今年度 ICT の強化として電子黒板とタブレット端末および学習アプリケーションを導入した。今後は市内の ALT を6人から8人に増やし、インターネットテレビ電話を用いて外国と月2〜3回の英会話講義を行う。レベル向上を目的として中高一貫校も検討中。地域外からも教育目的で人が来ると思う。

(委員) 若い人が来たくなる、住みたくなるまちづくりが必要。働く場所は簡単には増えない。雇用は米沢や山形に任せて、長井はベッドタウンに特化することも考えた方がよい。バラマキと批判されても、移住定住者補助金や出産祝い金を出して人を増やすことが先決ではないか。小さな子どもや中高生の遊ぶ場も必要。私の知人は孫を遊びに連れて行く際、某店舗の小さなゲームコーナーに行っているらしい。長井の娯楽がこの程度しかないのが本当に悲しい。ゲームセンターがよいわけではないが、お金も人も市外に流出しないようにしてもらいたい。

(委員) 山形県内の子どもの学力は全国比で低い。親の経済力が子どもの学力に比例しないようにしなければならない。学力をつけるために県内外の広域から長井に来るようになってもらいたい。

(委員) 各地区では地域づくり計画を作成し始めたが、各地区をどうするか、自分の立場で何ができるかを考えなければならない。中央地区は中心部としての魅力が無いと市全体がさびれる。豊田地区では市と国交省補助で河川緑地に子どもの遊び場を作る予定。地区ごとにやれることを考えていく必要がある。

○市庁舎について

(事務局) …別紙資料を用いてこれまでの経過と概要を説明。

(委員) 他の委員から意見があったが、市庁舎が移転した場合の跡地の活用予定はあるか？

(事務局) 跡地の予定はまだない。別途、長井市庁舎基本構想等で検討したい。

(委員) 市庁舎を防災拠点として考える場合、どのような機能と規模を想定するか？

(市長) 市庁舎の防災機能は、情報集約と指示を出す拠点機能（災害対策本部）を主に考えている。防災計画上の避難所は各地区にある学校施設等に設定しており、市庁舎は避難所にしないので庁舎規模を余計に広くする必要は無い。

(委員) 人口減少と高齢社会でも、今、長井市に住んでいる人を優先して豊かに暮らせるようであれば良い。まちの核は駅前通りであり、R287と駅を結ぶ線の周辺に施設整備をすべき。市民の憩いの場を作り、徒歩圏内で日常生活の用事が済ませられれば良い。グンゼや協同薬品の協力が得られれば、まちなかに広大な土地を確保できる。低層の1〜2階建物とし、シンボルとなる庁舎が出来れば良い。行政機能と公共複合施設の集約は必要。高齢者は趣味が沢山ある。公共複合施設に展示スペースを作ってもらえれば、高齢者の生きがいにもなると思う。

(委員) 施設の集約は必要かもしれないが、逆に、郊外に施設を建てて、そこを発展

させようという考え方もあるのではないか。

(委員) 中心に人を集めないとまずいと思う。

(市長) 移住定住補助金や出産祝い金事業は主に国から7割補助の過疎債がある過疎地域で実施されている。長井市は過疎地域ではないので補助がない。ならば市でないとできないことをやった方がよい。長井市では来年度以降、病児保育を始める。これは小児科の病院がある市だからできることで、都市機能が集約していない町では出来ない。

郊外に施設を作るとまちなかがゴーストタウン化する。郊外地区は自分達で出来ることを地域づくり計画でやってもらいたい。特に地域福祉と地域防災。郊外5地区では地区公民館を中心として小さな拠点づくりをしていきたい。マイナンバー制度で今後、コンビニで証明書等の交付ができるようになる。公民館にコンビニを併設したり、地区専用バスを設けて移動サービスを行ったり、高齢者同士でシェアハウスしたりなど。郊外地区とまちなかとのネットワークを作っていく。

中心市街地活性化基本計画の6~7割は実現しつつある。賑わいづくりに施設整備、働く場としてインキュベーション施設の設置、交流人口増のために観光交流センターの設置、フラワー長井線とバスでまちの中心に人を集める。山形鉄道は経営改善のために上下分離方式に移行した。

(委員) 公共複合施設も市庁舎も駅前にある方がよい。子どもが遊ぶ屋内の遊戯施設は十分に考えてもらいたい。長井の場合、水を絡めた施設の検討もありではないか。近年、片親世帯が増えている。公共複合施設に病児保育施設も併設されているとありがたい。長井市はベッドタウンでもよいと思う。

(委員) 個人的に、今後、格差社会はもっとひどくなると予想している。長井市内で生活に困窮して不幸な事件事故が起こらないか心配している。香港では市民が朝ごはんを屋台で済ませた後、公園で太極拳をし、日中のんびりと過ごしている。海外のこんな事例を見ての思い付きだが、公共複合施設に朝だけでも100円~200円位の安価なレストランがあれば、親の朝の負担は減るし、朝ごはんを食べていない子どものセーフティネットにもなり得ると思う。

(3) その他

特になし

4. その他

(事務局) 皆さんからご意見を頂いた公共施設等整備計画は、11月中旬に予定の、市の重要事項を決める「庁議」に諮り、策定する。その後、策定した計画の公表を行う。

5. 閉会

以上